

第12回日本混合研究法学会年次大会

The 12th Annual Conference of the Japanese Society for Mixed Methods Research

会期 2026年11月14日(土)、15日(日)

開催方式 オンライン

大会長 八田太一 (静岡社会健康医学大学院大学)

大会テーマ

多様な文化に開かれた混合研究法:
実践とメタな論理的思考をつなぐ

Advancing Mixed Methods Research
in Diverse Cultural Contexts:
Bridging Practice and
Meta-Level Reasoning



問い合わせ先 第12回日本混合研究法学会年次大会事務局
Email: jsmmr.abstract@gmail.com

大会ホームページ https://jsmmr.smoosy.atlas.jp/ja/jsmmr12_index

共催 JSPS科研費(基盤研究B、課題番号 26K02679)「看護学研究における混合研究法教育支援基盤の開発—
Co-organized by JSPS KAKENHI Grant Number 26K02679

("Development of an Educational Support Platform for Mixed Methods Research in Nursing: Leveraging ICT and Generative AI")



© 2026 Japanese Society for Mixed Methods Research.

Illustration generated with ChatGPT (OpenAI); directed and selected by the JSMMR 2026 Annual Conference Organizing Committee.

DAY1 2026年11月14日（土）

9:00-12:00	公開シンポジウム		
論理は文化を超えられるか？ —日本人の思考、医療の対話、研究デザインをめぐって— 講演者 渡邊 雅子 パネルディスカッション：渡邊 雅子、成田 慶一、八田 太一			
12:10-12:50	日本混合研究法学会・年次総会		
13:00-13:10	オープニング		
大会長：八田 太一（静岡社会健康医学大学院大学） オープニングメッセージ：John. W. Creswell 実行委員長：成田 慶一（京都大学）、大河原 知嘉子（東京医療保健大学）			
13:30-14:30	招待講演 1		
主観的経験をデータとして問い直す — 第一人称の語りと第三人称のデータをいかに接続するか —（仮） 講演者：新川 拓哉（神戸大学 准教授）			
14:40-16:10	口頭発表セッション 1	（2演題）	口頭発表セッション 2 （2演題）
16:30-18:00	参加者交流	MEET THE EXPERT	

DAY2 2026年11月15日（日）

9:00-11:00	口頭発表セッション 3	(3演題)	口頭発表セッション 4	(3演題)
11:10-12:10	招待講演 2			
M-GTAの方法論的特徴と文化（仮） 講演者：山崎 浩司（静岡社会健康医学大学院大学 教授）				
12:20-13:20	スポンサーセッション			
13:40-15:10	MMRオープンフォーラム			
AIと質的研究の出会いは福音か？滅亡の始まりか？（仮） 企画者：成田慶一（京都大学） 登壇者：中西 崇文（東京工科大学 教授） 稲葉 光行（立命館大学 教授）				
15:20-15:40	クロージング			
大会長：八田 太一（静岡社会健康医学大学院大学） 実行委員長：成田 慶一（京都大学）、大河原 知嘉子（東京医療保健大学）				
16:00-18:00	ポストカンファレンスワークショップ 1		ポストカンファレンスワークショップ 2	
混合型分析としてのグラウンデッド・テキストマイニング・アプローチ（GTxA）（仮） 講師：稲葉光行（立命館大学）		システム改善に有効なMixed Methods Positive Deviance Study Design (MMPDS)（仮） 講師：河村洋子（産業医科大学）		